



2013年11月13日

BMW グループが提案する持続可能な次世代モビリティ 「BMW i3」および「BMW i8」を発表

- BMWのサブ・ブランド BMW i から誕生した次世代モビリティの第一弾は、電気駆動のBMW i3 およびプラグイン・ハイブリッド・スポーツ・カーBMW i8。
- 量産車として初めて炭素繊維強化プラスチック(CFRP)製の基本骨格を採用。
- 持続可能性を包括的に織り込んだ「次世代プレミアム」を提案。

ビー・エム・ダブリュー株式会社(代表取締役社長: アラン・ハリス)は、プレミアム・セグメントにおける次世代モビリティを提唱する「BMW i3(アイスリー)」および「BMW i8(アイエイト)」を、本日より購入希望申込の受付を開始すると発表した。納車は、BMW i3 が2014年4月5日から、BMW i8 が2014年夏以降を予定している。

BMW i は、BMW グループの中核ブランド BMW のサブ・ブランドとして位置付けられた持続可能な次世代モビリティを提供するプレミアム・ブランドである。BMW i の製品やサービスは、専用の設計、開発、企画、生産などにより、持続可能なプレミアム・モビリティを実現するという革命的な手法を採用している。その持続可能な次世代モビリティ・ブランドであるBMW i より、今回、電気のみを動力源とするBMW i3 が、そして、プラグイン・ハイブリッド・システム搭載のプレミアム・スポーツ・カーBMW i8 が誕生する。

BMW i が提供する自動車やサービスは、2007年以降、持続可能なモビリティ・ソリューションを模索するBMW グループの社内シンクタンクである「プロジェクトi」の一環として開発された。都市化が世界的に急速に進展していく中、電気駆動やハイブリッドといった代替駆動方式への需要増大など、めまぐるしく変化する顧客ニーズへ対応する事を目的として、BMW グループは新しいサブ・ブランド BMW i を誕生させている。BMW i の導入により、BMW グループは、最も革新的かつ最も持続可能なプレミアム自動車メーカーとしての優位性をさらに高めている。

メーカー希望小売価格(消費税8%込み)

モデル	動力源	希望小売価格
BMW i3	電気モーター	¥ 4,990,000
BMW i3 レンジ・エクステンダー 装備車	電気モーター + 647 cc 直列2気筒エンジン(発電用)	¥ 5,460,000
BMW i8	電気モーター + 1.5リッターストレート3気筒 BMWツインパワー・ターボ・エンジン	¥ 19,170,000

- 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税8%を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づくリサイクル料金が別途必要となります。
- BMW i3: 右ハンドル仕様、BMW i8: 右/左ハンドル仕様。

BMW i3 は大都市圏向け電動駆動の車として専用設計された 4 人乗りモデルであり、BMW i8 は高性能マシンのスポーツ性を持ちながら小型車並みのすぐれた燃費効率を兼ね備えたプラグイン・ハイブリッド・モデルである。両モデルとも、LifeDrive(ライフドライブ)構造と呼ばれる革新的な車体の基本構造コンセプトを採用している。この LifeDrive 構造は、パワートレインなどを収めるシャシーの役割を果たすアルミニウム製 Drive Module (ドライブモジュール) および乗員などが搭乗する基本骨格(パッセンジャー・セル)となる炭素繊維強化プラスチック(CFRP)製 Life Module (ライフモジュール) により構成されている。ボディ剛性と乗員保護性能に優れている CFRP は高い強度を誇りながら、スチールより 50%、アルミより 30% 軽量である。これにより、バッテリーによる重量増を、革新的な CFRP とアルミのアーチテクチャーを用いることで相殺し、たとえば BMW i3 ではわずか 1,260 キロの車両重量を実現している。この新構造による軽量化と低重心化は卓越した運動性能にも大きく貢献している。これにより、BMW の特徴である 50:50 という理想的な重量配分と後輪駆動にもこだわる BMW i3 および BMW i8 は、未来の駆けぬける歓びを提案する。

急速充電は CHAdeMO 方式を採用

日本仕様の BMW i3 は CHAdeMO(チャデモ)方式の急速充電に対応している。急速充電の利用により、約 30 分で 80% 充電が可能となる。通常使用する自宅や勤務先での普通充電の場合は、約 8 時間で満充電となる。

BMW i3 の主な特長(数値は参考値)

- 最大出力 125kW/170ps、最大トルク 250Nm を発生する電気モーターおよび総電力量 22kWh のリチウムイオン電池を搭載し、7.2 秒の 0-100km/h 加速をゼロ・エミッション走行で実現。
- 一回の充電で、約 130km から 160km までの走行が可能。走行モードを ECO PRO(エコ・プロ)モードにする事により約 180km、ECO PRO+(プラス)にする事により約 200km まで航続距離を延ばす事が可能(実用走行を想定した BMW 社内基準)。
- レンジ・エクステンダー(発電用エンジン)搭載モデルにおいては、航続距離を約 300km まで延ばす事が可能。
- 車両寸法は日本の機械式駐車場の利用が可能となるよう、全幅 1,775mm、全高 1,550mm を実現。

BMW i3 主な標準装備品

- AC 普通充電ポート / DC 急速充電ポート(CHAdeMO 対応)
- ハロゲン・ヘッドライト (LED ライトエレメント付)
- コンフォート・アクセス
- マルチファンクション・ステアリング・ホイール
- 自動防眩ルーム・ミラー
- 電動調整式 & 電動可倒式ワイド・アングル・ドア・ミラー

- フロント・アームレスト
- ストレージ・スペース
- レイン・センサー
- オートマチック・エア・コンディショナー
- パーキング・サポート・パッケージ（リア・ビュー・カメラ / PDC / パーキング・アシスト）
- ドライビング・アシスト・プラス
 - ACC ストップ&ゴー機能
 - 前車接近警告機能
 - 衝突回避・被害軽減ブレーキ
- HDD ナビゲーション・システム
- USB オーディオ・インターフェイス、ハンズフリー・テレホン・システム
- BMW i コネクテッド・ドライブ・スタンダード（BMW i リモート・サービス含）
- 19 インチ BMW i アロイ・ホイール

フロント: 155/70 R19、リア: 155/70 R19 / 175/60 R19(レンジ・エクステンダー装備車)

デザインについては、6種類のボディ・カラーと2種類のインテリア・デザイン（標準の「BMW i インテリア・デザイン LOFT」（ロフト）およびオプションの「BMW i インテリア・デザイン SUITE」（スイート））を設定している。オプション装備品には、電動ガラス・サンルーフ、LED ヘッドライト、フロント・シート・ヒーティング、20インチ・ホイールや harman/kardon の HiFi スピーカー・システムなど、様々な快適かつエクスクルーシブな品が用意されている。

また、車載通信モジュールにより、ドライバー、クルマ、そして、それらを取り巻く周辺環境を IT ネットワークでつなぐ「BMW コネクテッド・ドライブ・スタンダード」を e モビリティのために専用開発した、「BMW i リモート・サービス」を含む「BMW i コネクテッド・ドライブ・スタンダード」を標準装備として提供する。公共の充電ステーションで充電する必要がある場合には、現在地周辺で利用可能な充電ステーションが表示される。

スマートフォンを利用して車両を遠隔操作できるサービスである BMW i リモートアプリを使えば、スマートフォンで一部の車両データが確認できるようになり、充電状況の参照やルート計画などが遠隔操作で可能になる。さらに、さらに、運転中であってもナビの目的地検索をサポートしてくれる「BMW ドライバー・サポート・デスク」、リアルタイムな情報をもとに各種検索が可能な「BMW オンライン」やスマートフォンのアプリを車内でも楽しめる「BMW Apps」などが含まれる「BMW i コネクテッド・ドライブ・プレミアム」がオプションとして設定される。

BMW i8 の主な特長(数値は参考値)

- 最大出力 170kW/231ps、最大トルク 320Nm の直列 3 気筒 1,499cc の BMW ツインパワー・ターボ・エンジンを搭載。
- 電気モーターは、定格出力 96kW/131ps、最大トルク 250Nm を発生。
- BMW ツインパワー・ターボ・エンジンおよび電気モーターの組み合わせにより、システム・トータル最高出力 266kW/362ps、最大トルク 570Nm となり、0-100km/h の加速は

4.4 秒を、EU テスト・サイクルでの燃費は 2.5l/100km（100 キロメートルを走行するのに 2.5 リッターの燃料を消費）の低燃費を実現。

- 電気モーターのみでの走行の場合、最高速度 120km/h まで走行可能で、最長 35 km までゼロ・エミッション電気走行ができる。
- 運動性能と効率性のバランスを最適化するコンフォート・モードによる走行では航続距離が 500km 以上。

BMW i8 主な標準装備品

- AC 普通充電ポート
- LED ヘッドライト
- アラーム・システム
- 電動フロント・シート
- サン・プロテクション・ガラス
- ヘッド・アップ・ディスプレイ
- HDD ナビゲーション・システム
- HiFi スピーカー・システム harman/kardon
- USB オーディオ・インターフェイス、ハンズフリー・テレホン・システム
- BMW i コネクテッド・ドライブ・スタンダード（BMW i リモート・サービス含）
- ドライビング・アシスト
 - 前車接近警告機能
 - 衝突回避・被害軽減ブレーキ
- トップ・ビュー+サイド・ビュー・カメラ
- リア・ビュー・カメラ/ PDC
- フロント・シート・ヒーティング（運転席&助手席）
- 20 インチ BMW i アロイ・ホイール
フロント: 195/50 R20、リア: 215/45 R20

デザインについては、4 種類のボディ・カラーと 3 種類のインテリア・デザイン（標準の「BMW i インテリア・デザイン Callisto」（カリスト）およびオプションの「BMW i インテリア・デザイン Carpo」（カルポ）と「BMW i インテリア・デザイン Halo」（ヘイロ））を設定。

購入希望申込の受付について

BMW i 販売店での販売開始までの間は、購入を希望する顧客のために、購入希望申込書を用意する。購入希望申込書は、本日より BMW i スペシャル・サイト (bmw-i.jp)、または BMW i 販売店および BMW i カスタマー・インターラクション・センターにて入手可能となっている。

「次世代プレミアム」について

BMW i は持続可能性(サステイナビリティ)に関する目標を開発段階で設定し、コスト、重量、および品質に関する目標と同様に扱うといった新たな取り組みを導入したブランドである。BMW i が具体化するプレミアム・カーの新しいコンセプトとして「プレミアム」と「持続可能性」という2つの要素を両立させ、新しい価値観を生む「次世代プレミアム」を掲げている。これは、素材の選択、サプライ・チェーンおよび車両リサイクルといったすべての面において持続可能で、同時に自動車業界に前例のないベンチマークを確立している。たとえば、BMW のライプチヒ工場の敷地内にある BMW i の車両組立工場では、BMW i の生産によるエネルギーと水の消費量は、従来の生産と比べ、それぞれ 50% と 70% 削減している。また、工場の敷地内に 4 機の風車を設置し、生産用の全電力を再生可能エネルギーで賄っている。炭素繊維を生産している米国ワシントン州のモーゼスレイク工場も全電力を地元の再生可能な水力発電でカバーし、CO₂ 排出がゼロとなっている。製品にも環境への配慮がなされている。BMW i3 と BMW i8 のインテリアで使用されるレザーには牛皮のなめし剤として従来廃棄されていたオリーブの葉の油出物を有効活用している。また、BMW i3 では、インテリアに使用するプラスチックの 25%(重量比)は、リサイクル材料または再生可能原料を使用している。たとえば、標準のインテリア・デザインである「BMW i インテリア・デザイン LOFT」では、シートにはいわゆる「アップ・サイクル」の一環として PET ボトルのリサイクル材を含む 100% リサイクルのシート素材を使用。全車のインテリア・デザインにダッシュボードやドア・パネルの一部に天然素材のケナフ麻の繊維を採用している。さらにオプションのインテリア・デザインである「BMW i インテリア・デザイン SUITE」では、環境にやさしい天然素材のユーカリ・ウッドをトリム・パネルに採用している。こうして BMW i の車両は開発と生産から資料とりサイクルまで、ライフサイクル全体において持続可能な製品となっている。

BMW グループについて

BMW グループは、BMW、MINI、ロールス・ロイスというプレミアム・ブランドを擁する、自動車およびモーターサイクルのトップ・メーカーの一つであり、世界 13 カ国に 28 の製造工場を有し、140 カ国以上に販売網を構築しているグローバルな企業である。

2012 年における自動車総販売台数は 185 万台、モーターサイクルは 11 万 7 千台となっている。2012 年の売上高は 768.5 億ユーロ、税引前利益は 78.2 億ユーロを計上した。また、2012 年末時点における従業員数は 105,876 名である。

BMW グループは常に長期的な視野と責任ある行動を企業の指針とすることで成功をおさめており、その結果、すべてのバリュー・チェーンにおける環境的および社会的持続性、責任の

ある製品作り、さらには資源保護に対する明確なコミットメントを企業戦略の不可分な要素として確立している。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW i カスタマー・インターラクション・センター: フリーダイヤル 0120-201-438 を
ご掲載ください。
受付時間: 9:00-20:00 年中無休

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:
BMW Japan Corp. 広報室: 03-6259-8026(製品広報)